

第 25 期
中間報告書

平成20年 4月 1日から
平成20年 9月30日まで

アールビバン株式会社

株主の皆様へ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第25期中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の営業の概況ならびに主要事項についてご報告申し上げます。

敬具

平成20年12月

アールビバン株式会社

代表取締役社長 野澤 克巳

営業の概況

当中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日）におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する金融危機の拡大や、世界同時株安、原油価格の高騰によるガソリン、食品の相次ぐ値上げにより個人消費は伸び悩み、景気の後退懸念は否めない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループではさらなる合理化、効率化を目指し、業績の向上と企業価値の増大に努めてまいりました。

【アート関連事業】

当社グループの主力事業である「アート関連事業」においては、『アールビバン株式会社』では、クリスチャン・リース・ラッセンを中心とした人気作家の「版画・原画」を新規顧客の獲得を主眼として販売しております。また、地方営業所・常設店舗をすべて廃止し、全国各地での催事販売に特化した事が経費の削減と営業効率の向上につながりました。

子会社『株式会社e・ジュネックス』では、「イラスト系」の版画を店舗及び催事にて販売し新規顧客の獲得をしてまいりました。また、既存顧客向け大型催事「ジャパン・イラストレーターズ・フェスティバル」を四半期毎に開催しておりますが、常設店舗を改装し催事会場とする事により経費を削減いたしました。「デジタルアート部門」では、モバイルサイトにおける不採算サイトを閉鎖し、着せ替えサイトやデコメールサイト関連の新しいコンテンツのサービスを立ち上げました。

【金融サービス事業】

子会社『株式会社アートファイナンス』では、当社グループの顧客に対し、販売代金の割賦販売幹旋業務を引き続き行っておりますが、平成20年5月より収益率のアップを図るため、外部に委託していた信販業務を自社信販化いたしました。

【リゾート事業】

子会社『タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社』では、三重県鳥羽市において、高級リゾートホテル「タラサ志摩ホテル&リゾート」を運営しております。同ホテルでは、「ザ・リッツ・カールトン大阪」でご活躍された林田正光氏を取締役会長兼総支配人に招聘し、ホスピタリティの高いサービスを提供する為の従業員教育に特に力を入れ、お客様のリピート率を高める事に注力してまいりました。

【健康産業事業】

千葉県柏市にて運営しておりますハイグレードなフィットネスクラブ「カルナ フィットネス&スパ」では、ホテル運営で培ったクオリティの高いスタッフのサービスで近隣のフィットネスクラブとの差別化を図り、獲得会員数も2500名を突破いたしました。

更に、4月には川崎市に「カルナ スタジオプラス」を開業いたしました。同スタジオでは、タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社社長である今野華都子プロデュースによるフェイシャルサロンを併設し、さまざまなエクササイズプログラムを提供しております。

また、女性専用ヨガスタジオ「スタジオ・ヨガッタ」を横浜市において、「エステルーム パセオ」を仙台市で運営しております。

これらの施策を行ってまいりました結果、連結業績は、売上高37億39百万円（前年同期比17.0%減）、営業利益3億89百万円（同23.4%減）、経常利益4億54百万円（同18.6%減）となり、中間純利益は2億28百万円（同18.8%増）となりました。

また、当期の中間配当につきましては、1株につき5円と決定させていただきましたので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、引き続き、サブプライムローンをきっかけとした世界的な金融市場の混乱により、わが国経済も当面の間、停滞する事が予想されます。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績見通しを、売上高69億円、営業利益4億2千万円、経常利益5億円、当期純利益2億円と見込んでおります。

当社といたしましては、引き続き魅力あるイベント企画の全国展開に注力しながら、グループ会社を通じ、『美と健康』をテーマに『心と体の癒し』の普及に努め、『豊かで健康な暮らし』の提案に積極的に注力してまいります。

また、さらなる事業の選択と集中、合理化、効率化の推進を目指し、業績の向上に努めてまいります。

中間連結貸借対照表

(平成20年 9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	14,636,715	流動負債	3,623,621
現金及び預金	4,958,713	買掛金	342,747
受取手形及び売掛金	8,184,623	未払法人税等	224,455
たな卸資産	545,641	割賦利益繰延	1,920,078
前払費用	387,019	賞与引当金	87,714
繰延税金資産	506,517	返品調整引当金	17,308
その他	136,757	その他	1,031,316
貸倒引当金	△82,556	固定負債	342,626
固定資産	4,152,006	退職給付引当金	12,335
有形固定資産	2,366,596	役員退職慰労引当金	304,219
建物及び構築物	1,773,488	その他	26,071
土地	324,468	負債合計	3,966,247
その他	268,639	(純資産の部)	
無形固定資産	82,914	株主資本	14,913,210
投資その他の資産	1,702,495	資本金	1,656,000
投資有価証券	908,219	資本剰余金	6,706,301
敷金及び保証金	381,302	利益剰余金	7,690,067
繰延税金資産	130,718	自己株式	△1,139,159
その他	350,617	評価・換算差額等	△90,735
貸倒引当金	△68,362	その他有価証券評価差額金	△90,735
資産合計	18,788,722	純資産合計	14,822,474
		負債・純資産合計	18,788,722

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(平成20年4月1日から)
(平成20年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,739,719
売 上 原 価		1,696,905
売 上 総 利 益		2,042,814
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,653,405
営 業 利 益		389,408
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	10,851	
そ の 他	55,836	66,688
営 業 外 費 用		2,064
経 常 利 益		454,032
特 別 利 益		692
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3,503	
事 業 所 閉 鎖 損	9,433	
そ の 他	5,839	18,777
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益		435,947
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	191,624	
法 人 税 等 調 整 額	15,573	207,197
中 間 純 利 益		228,749

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成20年4月1日から)
(平成20年9月30日まで)

(単位：千円)



科	目	金	額
営業活動によるキャッシュ・フロー			1,057,731
投資活動によるキャッシュ・フロー			△44,075
財務活動によるキャッシュ・フロー			△206,743
現金及び現金同等物に係る換算差額			△64
現金及び現金同等物の増加額			806,849
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額			51,125
現金及び現金同等物の期首残高			4,100,738
現金及び現金同等物の中間期末残高			4,958,713

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

役員 (平成20年9月30日現在)

氏名	地位	担当または主な職業
野澤克巳	代表取締役社長	
栗田実	常務取締役	管理担当
大西真史	取締役	(株)e・ジュネックス代表取締役社長
森本美成	社外取締役	(株)エグゼクティブ・パートナーズ理事
戸次正三	常勤(社外)監査役	
大谷章二	監査役	
伊藤拓	社外監査役	弁護士法人 御堂筋法律事務所 弁護士

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
(郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部
(および)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
(電話照会先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所変更等用紙のご請求)  0120-175-417 (24時間)
	(その他のご照会)  0120-176-417 (平日9:00~17:00)

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

【株券電子化後の株式に関するお届出先及びご照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出及びご照会は、株主様の口座のある証券会社様宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株券電子化前後の単元未満株式の買取請求のお取扱について】

特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までにご請求をいただいた場合は、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。

※単元未満株式について「ほふり」を利用されている株主様につきましては、上記取扱と異なりますので、お取引の証券会社様へお問合せ下さい。